

トピックス

業績

トップメッセージ

特集

事業の概況

企業情報

財務セクション



スマートパワー

ゼロエミッション・エレクトリック 通勤用『EC-03』

「楽しい移動を創る」ことを目指す当社グループは、2010年9月に国内市場へ向けて電動バイク『EC-03』を発売しました。排出ガスゼロのクリーンな電動モーター駆動が実現する静粛かつ滑らかな走りに加え、従来型原付1種とは一線を画すデザインとコンパクトな操作性を誇る『EC-03』は、都市部での短距離移動だけでなく、観光地やリゾート施設でも支持を拡大し、2010年9月の発売から2011年12月までで累計2,000台の出荷を達成しています。

女性をメインターゲットとしたスポーティカジュアル 電動アシスト自転車『PAS VIENTA』

「人間感覚を最優先する」という理念を持つスマートパワーとして、電動アシスト自転車もPASユニットの小型軽量化やバッテリー性能の向上など、年々機能やスペックの熟成を重ねています。2011年9月に発売した『PAS VIENTA (パス ヴィエンタ)』は、当社独自の機構「S.P.E.C.8(スペックエイト/Shift Position Electric Control×内装8段変速)」を採用し、スポーティーで軽快な走行性能を実現。スタイリッシュな外観や快適な仕様とともに、女性ユーザーからの支持を集めています。



産業用無人ヘリコプター

農作業の効率化・省力化に貢献 『RMAX TypeⅡG』

ヤマハ発動機は、1987年に世界初の産業用無人ヘリコプターを発売。薬剤の散布を中心に今では水稲をはじめ、大豆や麦の防除システムとしてすっかり定着し飛躍的に防除面積を伸ばし続けています。二輪車や船外機で培った小型エンジン技術と制御技術をコア技術に、安定した飛行が可能となり、農作業の効率化・省力化に貢献するとともに、農業従事者の減少や高齢化、農作物の低コスト化などの問題を抱える現代の農業には欠かせない製品となっています。

また、農業用として信頼の実績を持つ「RMAX」をベースに、自律制御システムを搭載した、「自律航行型RMAX」を開発。半径約3kmのプログラムによる無人飛行が可能となり、人や有人ヘリが立ち入ることができない危険なエリアでの情報収集や調査、観測用途に対応します。近年では観測・監視・調査など幅広い分野での飛行作業を行っています。



産業用機械・ロボット

業界最高レベルの搭載速度と面積性を実現 表面実装機『Z:TA YSM40』

未来への期待感を高める産業用機械・ロボット事業においては、スマートフォンやタブレット型端末などで需要を牽引するモバイル情報機器関連市場向けに、業界最高水準の部品搭載速度を誇る表面実装機『Z:TA (ジータ) YSM40』を発表します。

4ステージ、4ヘッドレイアウトや多彩な搬送パターンが可能な搬送装置の採用により、1時間当たり10万個以上という業界最高レベルの部品搭載能力を誇り、新開発の電動テープフィーダー『ZS (ジーエス) フィーダー』と連動して無停止連続生産にも対応可能。さらに、搭載ヘッドの交換により、超小型チップ部品から大型異形部品までもカバーする高い汎用性を兼ね備えた同機は、表面実装機市場の成長を牽引するデジタル電子機器に内蔵される小型・中型基盤に最適化した生産設備として、今後の高速機市場を拡大していくことが期待されています。



発電機・汎用エンジン

軽量コンパクト・レトロモダンなデザイン インバーター発電機『EF1600iS』

国内の携帯型発電機は主に業務用電源として利用されていましたが、2011年3月に発生した東日本大震災による計画停電を契機に、家庭内や企業での非常用電源として見直され、パソコンなどの精密機器の電源としても使用可能な良質な電気が得られるインバーター発電機のニーズが高まっています。東日本大震災の際には、当社のインバーター発電機500台を被災地に提供しました。

『EF1600iS』は、徹底的に軽量化した小型エンジンを採用し、仕様は樹脂製部品を活用してコンパクト化することで、出力1.6kVAの高出力ながら重量20kgの軽量化を実現しました。インバーター方式の採用により家庭用電源と同レベルの良質な電気の供給を可能にし、コンピューター内蔵製品やマイコン制御の電気製品の電源としても安心して使用できます。排出ガス規制にも対応し、低騒音化に加えてリサイクル率は90%を達成した、ヤマハ発動機のモノ創りに対する姿勢を象徴する発電機です。

